

# 京都文化交流 コンベンションビューロー通信

7<sup>2023</sup>月号

KYOTO  
TRADITION MEETS INNOVATION

## CONTENTS



祇園祭山鉾巡行 函谷鉾 (7月17日)

- P1…2022年の京都での国際会議の開催状況
- P2…令和5年度のMICE助成金について
- P2…アジアゴルフツーリズムコンベンション2023
- P3…文化観光を更に推進  
～文化庁京都移転を契機に～
- P3…万博開催に向けた経済団体との  
情報交換、京都企業との知恵交流
- P3…インターネット・ガバナンス・フォーラム  
2023がいよいよ開催
- P4…第3回「古典の日文化基金賞」受賞者  
決まる
- P4…街かど古典カフェ
- P4…とにかくおもしろい！連続講座  
「来訪神としての光源氏と変容する女性」

## MICE

## 2022年の京都での国際会議の開催状況

6月9日に、2022年に京都で開催された国際会議について発表いたしました。

2022年は、まん延防止等重点措置や水際対策などの制限が徐々に緩和されたことを追い風に、コロナ禍の取組が功を奏し、JNTO基準による国際会議の開催件数は**京都市域で70件(前年比17.5倍)、市域を除く京都府域では6件**を記録しました。この結果、京都府域・市域ともに、記録が残る1987年の統計調査開始以降で最も少ない開催件数を記録した2020年、2021年から脱却し、増加に転じました。

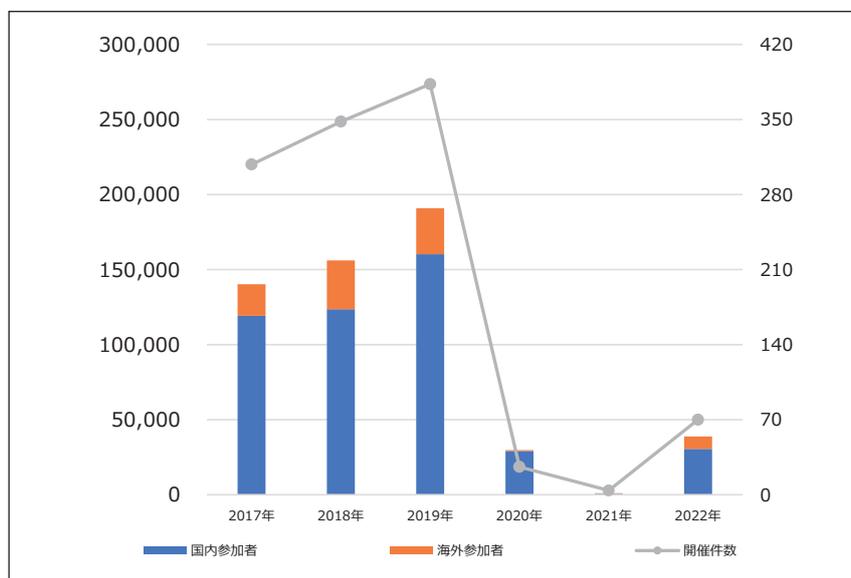
なお、京都市域の参加者数については、参加者数が500名以上の大型国際会議が24件開催されたことから、昨年の37倍の38,776人となり、コロナによる影響が出始めた2020年よりも大きく上回る

参加者数を記録しました。

また、開催形態別では、2021年に引き続き、ハイブリッドが主流な開催方式であった一方で、オンライン配信を伴わない現地開催が急増し、会議の中止・延期は激減しました。

しかしながら、コロナ前と比較した場合、未だに市域での開催件数・参加者数ともに約20%に留まっており、コロナ禍からの完全な復活には至っておりません。当ビューローでは、引き続き、会員企業・団体の皆様、京都府、京都市、京都商工会議所、国立京都国際会館、京都市勤業館みやこめっせ等、各施設、京都府警、京都大学等各大学などの皆様との連携をさらに強化するとともに、より一層良質な国際会議の誘致、安心・安全な開催の支援に努めてまいります。

年別の国際会議の開催件数・参加者数(京都市域)



当ビューローでは、京都府・京都市からの補助金を財源として、京都へのMICE誘致・開催支援を目的とする各種助成金制度を設けています。

京都市域においては、本年度より、脱炭素や地域貢献等のSDGsに資する活動を推進するMICE主催者に対して補助を行う、「サステナブルなMICE開催支援補助制度」を新設いたしました。同制度を通じて、MICE主催者・事業者の皆様へのMICE開催におけるSDGsへの理解促進や先進事例の普及を図り、サステナブルなMICE都市の実現を目指してまいります。

京都府域においては、令和2年度に、外国からの参加者数等の要件を緩和するとともに、小規模な国内会議等にも対象を拡大し、さらに補助金上限額を引き上げましたが、本年度も同内容を維持し、京都府域におけるMICE開催を支援してまいります。

また、助成金・補助金制度の他にも多様な支援制度を用意しておりますので、詳しくは当ビューローのホームページにて御確認ください。なお、一部の制度では、既に多数の申請を頂いており、要件を満たしていても御利用頂けない場合もございますので、予め御了承ください。

京都市助成金制度の概要

支援メニュー 助成要件	① サステナブルなMICE開催支援補助制度	② 京都らしいMICE開催支援補助制度	③ 京都市MICE開催支援助成金	④ 大規模国際コンベンション開催支援助成金	⑤ 大規模国際コンベンション誘致支援助成金
種 及 び 対 象 者	M 企業ミーティング等 I インセンティブ・ツアー等 C 学会、会議、総会、大会等 同窓会 大学同窓会、企業OB会等の主催者	M 企業ミーティング等 I インセンティブ・ツアー等 C 学会、会議、総会、大会等 同窓会 大学同窓会、企業OB会等の主催者	M 企業ミーティング等 I インセンティブ・ツアー等 C 学会、会議、総会、大会等の主催者	C 学会、会議、総会、大会等の主催者	C 学会、会議、総会、大会等の主催者
対 象 経 費	M・I・C・同窓会 サステナビリティに貢献する取組(例) ・会議関連企画として、市民公開講座を行い、最先端の知見を共有 ・会議開催に当たり、カーボンオフセットを実施し、CO2の排出を削減 ・参加者にステンレスボトルを配布し活用を促し、ペットボトルの使用を削減 ・学会への学生の関与を促すため、学生がアルバイトとして学会の運営等に従事など	M・I・C・同窓会 会議等で京都らしさを演出し、参加者に「ほんまもんの京都」の一端に触れていただく機会の提供に要する以下の経費 (1) 文化プログラム 式典やレセプション等における舞、和太鼓、茶道、着物着付、鏡開き等の経費 (2) 伝統産業プログラム ・参加者に対して配布(記念品等)する伝統産業製品の購入経費 ・工房見学・体験に要する経費 ・ミスきもの派遣など	M・I・C 会議等の開催に要する経費	C 会議等の開催に要する経費	C 会議等の誘致活動に要する経費 (1) 広報宣伝費 (2) 印刷製本費 (3) 会場借上費 (4) キーパーソン等の招致経費 (5) その他特に必要と認める経費
助 成 金 額 上 限	M・I・C・同窓会 30万円	M・I・C・同窓会 50万円(一部75万円)	M・I・C 200万円	C 1,000万円	C 100万円
会 期 等	M・I・C・同窓会 1日以上開催	M・I・C・同窓会 1日以上開催	M・I・C 2日以上開催	C 3日以上開催	C 3日以上開催
参 加 人 数	M・I・C 30名～上限なし 同窓会 100名～上限なし (うち京都市外在住者5割以上)	M・I・C 30名～上限なし 同窓会 100名～上限なし (うち京都市外在住者5割以上)	M・I・C 現地参加者50名以上 (海外参加者要件なし)	C 3箇国以上かつ 500名～上限なし (うち海外参加者100名以上)	C 3箇国以上かつ 500名～上限なし (うち海外参加者100名以上)

京都府助成金制度の概要

支援メニュー 助成要件	⑥ コンベンション開催支援	⑦ 分科会開催支援	⑧ コーポレート・ミーティング等開催支援	⑨ インセンティブ・ツアー等開催支援	⑩ エクスカーション支援
対 象 経 費	京都府域(市内を除く)における会議等の開催に要する経費	京都府域(市内を除く)における分科会開催に要する経費	京都府域(市内を除く)におけるコーポレート・ミーティング等の開催に要する経費	京都府域(市内を除く)におけるインセンティブ・ツアーの開催に要する経費	京都府域(市内を除く)が1か所以上含まれるエクスカーション催行に要する経費
助 成 金 額 上 限	会議等参加人数が 30名以上49名: 20万円 50名以上199名: 30万円 200名以上: 60万円	分科会参加人数が 15名以上99名: 20万円 100名以上: 30万円	コーポレート・ミーティング等参加人数が 30名以上49名: 20万円 50名以上199名: 30万円 200名以上: 60万円	インセンティブ・ツアー等参加人数が 30名以上49名: 20万円 50名以上199名: 30万円 200名以上: 60万円	エクスカーション参加人数が 15名以上: 30万円
会 期 等	2日以上開催	2日以上開催 (本体となるコンベンションが⑧の会期など要件に当てはまり、かつ京都府内を含む関西圏で開催されること)	2日以上開催	2日以上開催	京都府内で開催される会期が2日以上の会議等 または 京都市内で開催される会期が2日以上のコーポレート・ミーティング/インセンティブ・ツアー
参 加 人 数	30名以上49名: 日本を含む2箇国以上の参加 50名以上: 外国人参加者要件なし	15名以上: 外国人参加者要件なし	30名以上49名: 日本を含む2箇国以上の参加 50名以上: 外国人参加者要件なし	30名以上49名: 日本を含む2箇国以上の参加 50名以上: 参加者の半数以上が外国人	15名以上 ※インセンティブ・ツアーは、参加者数の半数以上が外国人であること

令和5年3月に、京都府及び府内の各市町、京都府観光連盟や京都市観光協会と連携の下、アジアを中心に世界からゴルフ旅行を扱う商品作成者が一堂に会する「アジアゴルフツーリズムコンベンション」(宮崎で開催)に出展し、そこでの商談を通じて、京都府内に数多くあるゴルフ場や観光の魅力等を発信するとともに、コンベンション終了後には、京都府内でファミトリップを実施しました。

宮崎で開催されたコンベンションでは、25名のゴルフツアーオペレーターと商談を実施し、ファミトリップでは10名のツアーオペレーターが参加して、京都府内のゴルフ場、観光施設、宿泊施設、レストランなど、ツアー作成において必要不可欠な場所を訪問したほか、海外からのゴルフツアーの受け入れに積極的なゴルフ場とのネットワーキングを実施しました。

予算の関係上、ファミトリップは受け入れ可能な人数を定めました

が、宮崎での出展の結果、ファミトリップ参加者以外にも9名の方が宮崎での会議後に自主的に京都を訪問されたほか、ゴルフツアーに含まれることが少ない観光の魅力についても多くの質問を受けるなど、京都におけるゴルフツーリズムへの期待の高さが伺えました。

当ビューローでは、引き続き、関連機関と連携しながら、京都のゴルフツーリズムを振興してまいります。



商談会の様子

文化庁は、京都での業務を5月15日から本格的に開始しました。今回の京都移転に当たり、長官をトップに「文化観光推進本部」と「食文化推進本部」が新設されましたが、文化観光や食文化は京都の強みを発揮できる分野であり、今後の展開が非常に期待されます。

当ビューローは、全国のコンベンションビューローの中で唯一「文化」と「観光」の両方を推進する組織です。これまで、MICE会場として神社仏閣や美術館、博物館等、特別な場所で特別な体験をしていただく『ユニークベニュー』、MICE参加者に舞などの文化プログラムや伝統工芸品の活用等を通じて「ほんまもの京都」に触れていただく『京都らしいMICE』の開催支援をしています。併せて、文化資源を活用すると同時に持続的に守っていく取組も重要であることから、令和3年度に『京都MICE基金』を創設し、MICE主催者や参加者から寄附を募り、京都の伝統文化や文化財、歴史的建造物や自然・景観等を守るための取組を推進しています。

文化庁京都移転を契機に更なる取組を進め、MICEを通じて京都の文化や自然を守りながら発信していくことに努めてまいります。

### ユニークベニュー

仁和寺で開催された外資系自動車メーカーの新車発表会の開催にあたり、文化財の特別利用許可について主催者と行政との仲介を担って成功裡に導き、文化財活用につながる機会を創出しました。



### 京都らしいMICE

不動産会社の会議では、懇親会での京都らしい演出として芸舞妓や京小町踊り子隊を手配、伝統的な踊りと創作日本舞踊を参加者に楽しんでいただきました。



### 京都MICE基金

昨年度は、10件の国際・国内会議や、17か所のホテル・会場等施設に募金箱設置の御協力を頂きました。当財団では、京都府・京都市とも連携し、サステナブルなMICEの開催を目指しています。多くの寄附が集まりますよう、皆様の一層の御協力をお願いいたします。



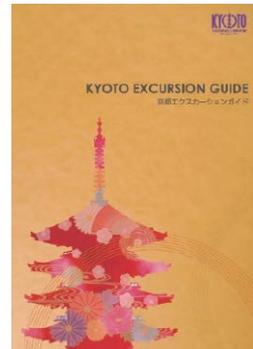
2025年大阪・関西万博では「一緒につくろう、京都の未来～伝統と革新で拓く～」をテーマに、万博を契機とした京都の産業振興、地域振興が期待されており、開催に先立つ国内外からの活発な視察・見学も見込まれます。

当ビューローではこれまでの経験やネットワークを活かして京都の取組に貢献していきたいと考えており、京都経済4団体の皆様との情報交換の機会を頂き、以下のような取組例などを紹介し、御意見を伺いました。

当ビューローでは、MICE開催支援の一環として、京都ならではの特別な体験プログラムを「京都エクスカージョンガイド」で紹介しており、その中の一つの「京都のモノづくり企業との知恵交流」では、京都企業との企業間交流の場を御要望に応じてアレンジしています。昨年9月には、愛知県のセラミックス関連企業からの依頼を受け、京都の企業との交流を支援し、双方企業の人材育成に関する取組等の意見交換が行われるなど、有意義な交流会が開催されました。



京都経済4団体との情報交換



本年10月8日より、国立京都国際会館において、国連が主催する「インターネット・ガバナンス・フォーラム 2023」がいよいよ開催されます。

当該会議は、昨年、総務省が日本国内で開催地を検討した際に、当ビューローが、京都府、京都市、国立京都国際会館と連携して、国連による視察対応などにあった結果、京都が開催地に選ばれたものです。

インターネットに関する公共政策課題について、国連主催のもと、マルチステークホルダー（政府、民間部門、技術・学術コミュニティ、市民社会等）が対話を行う会議であり、日本では初めての開催と

なります。

当ビューローでは、引き続き、会議の開催成功に向けて、総務省、京都府、京都市、国立京都国際会館などと連携しながら、開催に向けた支援を行ってまいります。

### （会議概要）

会議名称：インターネット・ガバナンス・フォーラム 2023  
開催予定時期：令和5年（2023年）10月8日（日）～12日（木）  
会場：国立京都国際会館  
参加予定者数：約 5,000 名

古典文化の研究・普及・啓発に貢献した個人と団体を顕彰する「古典の日文化基金賞」。

「文学・思想」部門は、イギリス出身の詩人・作家のクリス・モズデル氏に。有名アーティストやアニメに詩を提供する一方で、日本の文化とりわけ古典と平安の生活風土を愛し、日本の古典の理解者、伝道者として世界に発信。

「伝統芸能・音楽」部門は、落語家の桂吉坊氏に。上方落語のホープとして古典落語の舞台を重ねながら、独演会では落語に出てくる伝統芸能の演者を招き舞台で紹介したり、伝統芸能公演のナビゲーターとして伝統芸能の普及に尽力。

「美術・生活文化」部門は、香川県小豆島の木桶職人復活プロジェクトに。絶滅の危機に瀕している醸造用の木桶作りを

繋いでいこうと企業や業界の枠を越えて集まり、日本各地に木桶職人が増えていくことを目指し輪を広げている。

若者たちの古典文化活動を応援する「未来賞」は3団体に。毎年小中学生を募集し伝統芸能の研修に励んでいる石川県の「こまつ歌舞伎未来塾」、源氏物語にフォーカスを当て日本人の感性や美意識を世界に発信することをテーマに活動をしている京都府の「嵯峨野高校 京・平安文化論ラボ」、東日本大震災で存続の危機に陥った伝統の獅子舞の復活に力を尽くし地域の絆を繋いだ岩手県の「宮古市津軽石中学校 法の協獅子舞保存会」に贈られます。

授賞式は9月3日（日）に行われます。

2008年に開かれた源氏物語千年紀記念式典で「11月1日を古典の日と呼ぼう」と宣言した「古典の日宣言」から15年となる今年は、春と秋の2回の古典カフェを開催します。

春は「京の美を担う作家たち」と題し、伝統工芸の分野で活躍される作家の皆さんを講師に迎え、4月22日を初回に5回シリーズで開催（1回目は截金作家の江里朋子さんとガラス工芸作家の石田知史さん、2回目は木版画摺師の平井恭子さん、3回目は染色工芸家の羽田登喜さん、4回目は御所人形師の伊東庄五郎さん、5回目は陶芸家・美術家の近藤高弘さん）。伝統を受け継ぎながら新しい事へ挑戦し、次代に繋いでいくことの苦労や喜びなどを熱く語っていただきました。



春の古典カフェ（木版画摺師 平井恭子さん(中央)）

## とにかくおもしろい！連続講座「来訪神としての光源氏と変容する女性」

光源氏のことを「ひどい男！」なんて思っておられる方はいませんか？その彼を来訪神と捉えてみるとまったく違った見え方に。

源氏物語で描かれる「まばゆいばかりの色彩」、「匂い立つ香り」や「雅なる音」など、五感だけでは表現できない感覚世界を楽しみながら、来訪神としての光源氏の存在を読み解く連続講座を開催します。

今もなお世界中で上演される人気オペラ「ドン・ジョバンニ」、あらゆる女性を虜にする稀代のプレイボーイと光源氏の共通点は？違いは？

能楽師にして宝塚歌劇ファンの安田登さんならではの視点で、新たな発見が！皆様のご参加をお待ちしています。

講師：安田登（下掛宝生流ワキ方能楽師）

日時：第1回 10月7日 『来訪神としての光源氏「末摘花」』

第2回 10月21日 『源氏物語の2.5次元：能と宝塚歌劇を中心に』

いずれも土曜日の13時30分～15時（開場は13時）

会場：立命館朱雀キャンパスホール（京都市中京区西ノ京朱雀町1）

入場料：一般3,000円（2回分 事前申込制） 学生は無料（事前申込制）

秋開催



安田登さん

## 新規賛助会員のご紹介（受付順）2023年4月末受付分まで

株式会社ワン・ワールド  
TEL：075-343-8100  
<http://1-world.co.jp/>

株式会社長楽館  
TEL：075-561-0001  
<https://www.chourakukan.co.jp/>

二条諷詠（株式会社タイムプロデュースリンク）  
TEL：075-468-8343  
<https://link-delivery.com/company/>

一般社団法人京都産業会館  
TEL：075-351-1300  
<http://www.ksk.or.jp/>

公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー（KCVB） 〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地 京都経済センター 3階

TEL:075-353-3050 FAX:075-353-3055

<https://hellokcb.or.jp>

インボイス制度に係る登録番号 T9130005012622

